

災害廃棄物処理に係る取組について

令和8年7月15日
埼玉県環境部資源循環推進課



災害廃棄物処理に係る取組について①

埼玉県

1 災害廃棄物処理計画の策定状況

- 埼玉県・・・平成 2 9 年 3 月に埼玉県災害廃棄物処理指針を策定（本年度改定を予定）
- 市町村・・・全市町村で策定済み

2 災害廃棄物処理指針で用いている被害想定

（1）地震

対象災害	規模	被害建物棟数		災害廃棄物量 （推計）
		全壊	半壊	
東京湾北部地震	M7.3	約1万5千棟	約4万3千棟	369万トン
関東平野北西縁断層帯地震	M8.1	約6万4千棟	10万2千棟	1,311万トン

（2）風水害

対象災害	規模	被害建物棟数		災害廃棄物量 （推計）
		床上浸水	床下浸水	
利根川氾濫による洪水	八斗島上流域 3日間総雨量 318mm	約49万9千棟	約14万4千棟	239万トン
荒川氾濫による洪水	荒川流域 3日間総雨量 632mm 入間川流域 3日間総雨量 740mm	約81万9千棟	約24万1千棟	392万トン

3 民間団体等との連携に関する取組の状況

- 災害廃棄物の収集、運搬、処理等について平時から処理体制を整備するため、以下の7つの団体・企業と協定を締結している。

No.	団体名	内 容
1	埼玉県一般廃棄物連合会※	・No. 1 ～ 4 共通： 災害廃棄物の撤去、収集・運搬及び処分 ・No. 1： 仮設トイレの設置、汚水の汲み取り・運搬 ・No. 2：仮置場の管理支援
2	(一社) 埼玉県環境産業振興協会	
3	埼玉県再生資源事業協同組合※	
4	(一社) 埼玉県解体工事業協会※	
5	太平洋セメント株式会社	・災害廃棄物の処理（熊谷市、日高市）
6	(一社) 埼玉県ダンプカー協会	・災害廃棄物の収集・運搬ほか
7	オリックス資源循環株式会社	・災害廃棄物の処理

※ 埼玉県清掃行政研究協議会が主体の協定(窓口は県)

4 実施している取組

(1) 災害廃棄物処理図上訓練

ア 目的

市町村職員の災害廃棄物処理への対応力向上や国、県、市町村、関係団体の連携構築による災害支援協定の実効性の確保

イ 内容

廃棄物処理に携わった市町村職員等による講演、仮置場の選定や開設など具体的に当事者イメージを持てるテーマを設定したグループ討議

【参考】令和7年度の災害廃棄物処理図上訓練の内容

- ・事例発表 ①災害廃棄物等の処理の協力に関する協定運用マニュアル ②令和6年能登半島地震を振り返って
③災害廃棄物処理の初動対応について
- ・グループ討議 仮置場の選定・開設

(2) その他

ア 指揮命令権者(災害対策本部の各部長)を対象とした演習において、災害廃棄物の発生も想定し演習を実施

イ 地震及び風水害対策に係るタイムラインを作成

ウ 県民等を対象に災害廃棄物の対策に関する講座を実施